

平成31年度事業計画

社会福祉法人みどりの樹

ぽるた

社会福祉法人みどりの樹 31 年度 事業計画

基本理念 誰もが生き生きと暮す街に

障がいがあってもなくても誰もが生き生きと暮せる街づくりの一端を担う

行動指針 スマイル & ネバーギブアップ

- ・利用者の笑顔・お客様の笑顔が、私たちの元気の源です
- ・利用者主体の視点を大切にします
- ・質の高い商品をお客様に提供します
- ・何事にもあきらめずに取り組むことを約束します

基本方針 YES, WE CAN! (31 年度スローガン)

以下、重点取り組みに掲げるように、今年度は地域ニーズの充足に向けて新事業所を立ち上げ、より良い法人としていくために、IT活用による業務の効率化やリスクマネジメント体制づくりなど、様々な取り組みに挑む、いわば「チャレンジの1年」と位置づけできます。

様々な人や考えに触れていく中で、良いと思うことは積極的に取り入れ、またオリジナリティ溢れる斬新な発想も臆せず発信し、実現に向けて行動していくことを心がけます。

基本理念の遂行に結びつけながら、ひとつひとつのアクションに対して「できる・できない」の判断を考えるよりも、やるべきと感じたらやる! やると決めたらやりきる! この心意気を持って一丸となって進んでいくことを目指します。

重点取り組み① IT の積極的活用も含めた業務の効率化

国をあげて「働き方改革」が打ち出されている今、現場で支援を担う職員の「働きやすさ」は、法人として追求し続けなければなりません。それは働きやすい、やりがいがあると思って支援に臨むことは、どんな知識や技術よりも「質の向上」に直結するものだと考えるからです。また、その職員もかけがえのない価値のある個人であることが保障されなければなりません。

より働きやすい職場環境の実現に向けて、今年度はまず「業務の棚卸」を行います。それぞれが行っている具体的な業務のすべてを見える化し、検証します。その中から事務作業を中心に、ムダを省き、効率よく時間を使えるよう改善していきます。

特に、書類や手続きの簡素化、情報の共有方法などによる業務の効率化実現に向けては、データ化・ネットワーク化など IT を積極的に導入して推進していきます。

重点取り組み ② リスクマネジメント体制の強化

今年度は新たにコンプライアンス委員会を立ち上げ、内部通報システムを確立していきます。様々なハラスメントや障がい者虐待等の予防、万が一の際の対応など役員や管理者と連動して取り組みます。また、IT 化を進めていく中では情報管理もこれまで以上に求められます。文書(データ)管理の規程を整えるなどし、徹底して行えるようにします。

また、30 年度までにヒヤリハット報告の習慣は浸透してきました。今年度ではその報告の積み上げを活用し、 今後の事故防止、苦情の減少等に結びつけられるよう検証していきます。

重点取り組み ③ 職員の資質向上

30 年度より実行している人事考課制度の効果を高めていくことを主眼に置きます。特に評価表に基づく評価はもとより、個別目標設定を丁寧に行っていきます。

職員がそれぞれの立場で担うべき役割、目指すべき像を明確に自覚し個別目標に設定し、達成に向けて意欲的に努力していけるよう、職務権限の在り方を見直し整理します。また、伴って必要に応じてキャリアパスの要件等も見直して、より具体的に頑張ることが実現できるようにしていきます。

重点取り組み ④ 新事業所の開設に向けて

今年度 10 月より、新しく事業所(生活介護 10 名、就労継続支援 B 型 10 名)を立ち上げます。この計画にあたっては、28 年度の浜北区自立支援連絡会での生活介護事業の実態調査にも基づき、地域ニーズの充足に主眼を置いています。特別支援学校を卒業していく方々が、その先の進路に不安を抱えている、精神障がいのある方が、退院も含め社会へ一歩踏み出そうと思った時に適切な福祉サービスが十分に確保されない、そういった声がここ数年多くなっていると感じています。

作業所活動を源とする私たちみどりの樹は、特に通所部門については「プロフェッショナル」でなくてはならず、地域から求められている果たすべき役割の中心だと考えています。このことから、今次計画により通所部門を拡充していくことは、地域に期待されているみどりの樹のミッションであり、この遂行が理念である「街(地域)づくり」に繋がるものであると確信し、邁進していきます。

従来の事業も含め、活動の内容も丁寧に検討し、福祉サービス利用を検討している方々が「空いている所を探す」ことばかりにならず、「自分らしく活躍できる場所、自分が行きたいと思える場所を探す」ことが少しでも 実現できるようになることを目指します。

事業種類・定員

事業所名	種別	事業内容 (事業名称)	定員	計
多機能事業所ループ	指定サービス	就労移行支援事業(ライム)	6	
		就労継続支援 B 型(ライム・なないろカフェ)	20	36
		自立訓練(生活訓練)事業(みかん)	10	
生活介護事業所ループ歩	指定サービス	生活介護事業 (さつき)	18	30
		生活介護事業(まつぼっくり)	12	30
多機能事業所ループ奏	指定サービス	生活介護事業 (るるる)	10	20
(新設)		就労継続支援 B 型(ららら)	10	20
本部拠点	指定サービス	放課後等デイサービス事業(あざみ)	10	
		特定相談支援事業(ぽるた)	_	
	浜松市地域	浜松市障害者相談支援事業(ぽるた)	_	
	生活支援事業	日中一時支援事業(あるば)	7	
	(公益事業)	地域活動支援センター I 型	(20)	
		(はまきた地域活動支援センター)		

[※]多機能事業所ループ奏は、平成 31 年 10 月 1 日開所予定

利用者数(計画値)

事業名	定員	30 年度平均 利用者数(人/日)	31 年度計画 利用者数(人/日)	30→31 対比	31 年度 稼働率見込
就労移行支援	6	2.9	4.0	+1.1	66.6%
就労継続 B 型 (ライム・なないろカフェ)	20	23.1	24.0	+0.9	120.0%
自立訓練(生活訓練)	10	7.1	7.5	+0.4	75.0%
生活介護(さつき)	18	19.8	21.0	+1.2	116.6%
生活介護(まつぼっくり)	12	9.5	10.5	+1.0	87.5%
生活介護(るるる)	10	_	5.0	_	_
就労継続 B 型(ららら)	10	_	5.0	_	_
放課後等デイサービス	10	10.6	12.0	+1.3	120.0%
日中一時支援	7	3.5	5.0	+1.5	71.4%
地域活動支援センター	(20)	12.6	14.0	+2.0	_
特定相談	_	35.0	37.0	+7.0	_

職員配置

		ループ	ループ 歩	ループ 奏	あざみ	あるば	特定 相談	委託 相談	はまきた 地活	本部	合計
管	理者	1		1		1				1	4
常勤	専従	8	6	4	3	0	0	1	2	0	24
勤	兼務	0	0	0	0	0		1		1	2
非	専従	7	7	3	5	2	1	0	0	0	25
非常勤	兼務	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
常勤	协換算	12.1	9.5	6.4	5.6	1.5	1.0	1.5	2.1	0.9	40.6

資金収支予算規模

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	224,558 千円	218,209 千円	6,349 千円
	(216,834 千円)	(202,850 千円)	(13,983 千円)
施設整備等による収支	66,000 千円	75,829 千円	△9,829 千円
	(0 千円)	(29,888 千円)	(△29,888 千円)
その他の活動による収支	5,000 千円	5,425 千円	△425 千円
	(20,000 千円)	(363 千円)	(19,637 千円)
当期資金収支差額	_	_	△4,106 千円
			(3,532 千円)

()内は、平成30年度当初予算

施設整備、大規模修繕、固定資産整備計画

事業所名	種別	金額(円)	詳細	財源
ループ			予定なし	
ループ歩	修繕	1,240,000	まつぼっくり外壁塗装工事	寄付金、自己資金
ループ奏	施設整備	67,200,000	建物建築及び外構工事	銀行借入金
本部拠点			予定なし	

借入金償還計画

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	使途
福祉医療機構	6,072,000	968,605	0	86,526,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	4,134,000	763,868	763,000	33,376,000	

[※]ループ奏新築工事費支払いを借入金で賄う計画だが、その償還は平成 32 年度から行う予定

生産活動

	種目	31 年度売上目標	前年度対比	目標工貨	賃 (月額)
		(円)	(%)		
	弁当(イベント販売含)	15,000,000	103%	·就労継続支援B	3型
ル	カフェ(喫茶・雑貨販売)	4,800,000	106%		25,000円
ヿ゚゚ヿ゚	下請け作業	5,200,000	101%	·就労移行支援	_
	計	25,000,000	104%		17,000円
	パン(まつぼっくり焼き菓子含)	4,600,000	100%	・さつき	
	おからクッキー	1,200,000	100%		4,500 円
ルー	下請け作業	1,190,000	100%		
ープ 歩	樹脂粘土アクセサリー	10,000	100%	・まつぼっくり	
	計	7,000,000	100%		13,500 円
ル	下請け作業	550,000	_	·333	15,000円
プープ奏	その他		_		
奏	計	550,000		·555	4,500円

主要会議等

会議名	構成員	頻度/時期
理事会	理事、監事	5月、11月、3月
評議員会	評議員、監事、理事長、業務執行理事	6月、3月
管理者会議	理事長、管理者	毎月 第1月曜
運営会議	理事長、管理者、主任	毎月 1回
法人全体会議	理事長、常勤職員	6月、11月、3月
職員会議	部門ごと、所属職員	部門ごとに設定
監事監査	監事、理事長、業務執行理事他	5月、11月

委員会活動

委員会名	内容	担当管理者
防災委員会	・各所防災訓練の主導	竹内ごず汀
防火安貝云	・防災備品、マニュアルの管理・整備等	17120年
おすそわけプロジェクト企画	・「照個屋」の企画・運営	竹内ごず汀
委員会	・地域における公益的取り組みの充実に向けた検討	LINACAT
研修委員会	・定期の夜間内部勉強会、研修報告会の企画・運営	海野洋一郎
划的女 员云	・法人合同内部研修会の企画・運営	/母卦//十 以2
広報委員会	・みどりの樹つうしん(機関誌)の定期作成・発行	海野洋一郎
/ 公 報安貝云	・法人ホームページの定期更新等管理を行います	/母卦//十 以2
マニュアル作成委員会	・現状マニュアルの整理	加藤祐司
マーエアルドル。女兵云	・必要マニュアルのあぶり出し、統一、作成	nunge (Li Li
福利厚生、節約委員会	・職員の意欲向上、関係強化に向けた提案・取り組み	加藤祐司
個的字土、即和安良云	・経費節減に向けたアイデア出しと周知、雰囲気作り	刀口形约口口
製品品質向上委員会	・既存商品の商品カアップ	寺田志のぶ
表吅吅其門工女员云	・新商品(自主製品)の開発	付田心のか
コンプライアンス委員会	・職場のハラスメントや虐待通報の受付窓口	寺田志のぶ
コンプラブン人安兵会	·現状把握·分析、予防策立案	ען ניין פין אין דין דין דין דין דין דין דין דין דין ד

職員研修計画

事例検討会	隔月1回	事例提供・ファシリテーター・記録者を持ち回りで、より多くの視点 で考えたい実際の事例を参加者で共有、検討する
研修報告会	隔月1回	直近の外部研修参加者が、研修内容の報告と学びを発表する 報告研修選定、運営は、研修委員会で行う
管理者・主任研修	年1回	ファシリテーションスキルや運営管理など、部門リーダーとしての資質向上に向けた研修を行う(研修内容は運営会議で検討)
法人全体内部研修	年1回	法人内職員が一堂に会し、支援の質の向上や、チームワーク強化に向けた研修を行う(研修委員会による企画立案)
外部研修・その他	適宜	県社協のスマイルブックの活用や、その他の外部研修の情報について、できる限り積極的に参画する。全常勤職員が1回以上、外部研修に参加するよう配慮する

地域における公益的な取り組みの推進 「みどりの樹 照個屋(てらこや)」の継続

地域の皆さんに楽しみながらみどりの樹のことをもっと知っていただくことを目指して、31年2月5日に、 照個屋と称し、複数のワークショップの開催と餅つき、豆まきを実施しました。それぞれのワークショップを主 催するのも、参加者もこれまでみどりの樹とはあまり接点のない方々も多く、みどりの樹にとっては、地域との つながりを広げる大変有意義な取り組みとなりました。31年度も同様に、みどりの樹も地域の一員として、皆 さんとつながりを深めながら元気になる企画として、実行していきます。

行事計画 (予定)

月	対外活動(イベント参加等)	課外レクリエーション活動等
4	・メーデー(ライム・まつぼっくり)	・お花見 (各事業所)
	・静岡県手話通訳問題研究会総会販売(まつぼべり)	・はじめの会(あるば・あざみ)
	・大人のワークショップ in 竹の丸(ライム・なないろカフェ)	
5	・はまきた飛竜まつり(法人全体)	・子どもの日会(あるば・あざみ)・日帰り旅行(ループ)
6	・浜北合同スポーツ大会(ループ、ループ歩)	・旅行(まつぼっくり)
	・ふれあいコンサート(ループ、ループ歩)	
	・日体祭 ・静岡県ろうあ者大会販売(まつぼっくり)	
7	・友愛の里まつり(ループ歩)	・七夕(各事業所)
	・ヤマ発浜北夏祭り(ループ歩)	・プールレク(さつき)
	・ヤマハ豊岡夏祭り(仮)(まつぼっくり)	
	・浜名梱包夏祭り(仮)(まつぼっくり)	
8		・外食体験(あるば・あざみ)
		・プールレク(さつき)
		・お疲れ様会(ループ歩)
		・暑気払い(ループ)
9	・日本ロック鉄板焼大会(ライム・さつき)	・まつぼっくりまつり(まつぼっくり)
		・お月見会(あるば・あざみ)
10	・わ西部ふれあいレクリエーション大会(ループ、ループ歩)	・収穫祭 (ライム)
	・労福協まつり(ループ歩)	・ハロウィンまつり(あるば・あざみ)
	・みみの里バザー(まつぼっくり)	・イモ掘り(あるば・あざみ)
	・天竜特支飛翔祭(まつぼつくり)	
	・天竜厚生会祭り(法人全体)	
11	・浜北ふれあい広場(法人全体) ・元気ライブ (ループ)	・おしるこ会(さつき)
	・あらたま協働センターまつり (まつぼっくり)	
	・わ本人研修会(仮)(まつぼつくり)	
12	·地域防災訓練(各事業所)	・クリスマス会(法人合同)
	・ヤマハチャリティーミュージカル(仮)(ループ歩)	・親子で楽しむクリスマス会(あるば・あざみ)
		・お疲れ様会(ループ歩) ・忘年会(ループ)
1	・福祉ふれあいフェスタ in はままつ(まつぼっくり)	·初詣(各事業所)
2		・豆まき(各事業所)
3	・みみの日大会販売(まつぼつくり)	・旅行(さつき) ・ひなまつり(あるば・あざみ)
		・卒業生を送る会(あるば・あざみ)
		・頑張りましたの会(あるば・あざみ)

法人組織図

評議員会

永井 昭、野中 正子、太田 秀夫、落合 克能

多機能事業所ループ 管理者 寺田志のぶ 評議員選任·解任委員会 就労移行支援(ライム) 山崎 陽司、佐々木 正和、外岡 圭子 就労継続支援 B型(ライム) 就労継続支援 B 型(なないろカフェ) 山崎 陽司、遠山 秀敏 自立訓練(生活訓練)(みかん) 監事 牛活介護事業所ループ歩 管理者 加藤祐司 理事会 山下 勝康、海野 洋一郎 生活介護(さつき) 生活介護 (まつぼっくり) 伊藤 基久、稲松 義人 竹内 こず江、加藤 祐司 多機能事業所ループ奏 管理者 加藤祐司 生活介護(るるる) 理事長 業務執行理事 就労継続支援 B 型(ららら) 山下 勝康 海野 洋一郎 放課後等デイサービス事業所あざみ 管理者 竹内こず江 運営会議 管理者会議 山下 勝康 山下 勝康 浜松市日中一時支援事業所あるば 海野 洋一郎 海野 洋一郎 管理者 竹内こず江 竹内ごず江 竹内 こず江 加藤 祐司 加藤 祐司 管理者 海野洋一郎 はまきた地域活動支援センター 寺田 志のぶ 寺田 志のぶ 各所主任 地域活動支援センター I 型 専門委員会 浜松市障害者相談支援事業所ぽるた 防災 管理者 海野洋一郎 法人全体会議 おすそわけプロジェクト 常勤職員全員 研修 特定相談支援事業所ぽるた 広報 管理者 海野洋一郎 マニュアル作成 事業所職員会議 福利厚生 節約 製品品質向上 法人本部 統括管理責任者 海野洋一郎 コンプライアンス

多機能事業所ループ 31 年度 事業計画

1 就労移行支援事業(ライム)

基本方針

2年間の有期限の中で、一般企業への就職を目指す方の職業訓練・就職活動支援・定着支援・就労後のフォローアップなどを行います。ハローワークなどをはじめ、関係機関との連携を生かし、マッチングを最重要ポイントとして取り組んでいきます。

具体的活動内容

ライム内での作業訓練を基軸に、生活リズムの安定を図りながら、あいさつ・返事・報告などから職業スキルの習得に取り組みます。特化プログラム SST では、「自分を知ること」をキーワードにしたグループワークを通して、具体的な職業生活スキルの向上を図っていきます。就職活動に関しては、ハローワークの登録から面接まで可能な限り同行し、サポートをしていきます。また、就労後のフォローアップでは、他事業・制度を積極的に活用・連携し、現場訪問や生活支援などを丁寧に行っていきます。

31 年度重点目標

それぞれにあったはたらき方、就労先を一緒に考えていけるよう、日々のかかわりやアセスメント、定期面談を 丁寧に行っていきます。また、昨年度に引き続き、特化プログラム SST を実施し、自分らしいはたらき方・は たらく場所を見つけられるよう、職場や他事業所の見学・体験を効果的に行っていきます。他に、就労後も自分 らしく、自信をもってはたらき続けられるよう、アフターフォローにも力を入れていきます。

目標就職者数と目標職場定着率

目標就職者数…2名 目標職場定着率…100%

その他、特記事項

特化プログラム SST は、毎週木曜日の午後に開催します。その他スケジュールは、併設の就労継続支援 B 型のスケジュールに基づきます。

2 就労継続支援 B 型事業 (ライム)

基本方針

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業 展開をしていきます。

具体的活動内容

(作業訓練活動)

- ・弁当の製造・販売…業務内容については例年通りに行います。お客様の声を大切に、安心安全でおいしい弁当をお届けし、安定した注文が確保できるように努めます。
- ・下請作業…業務内容については例年通りに行います。納期や精度、環境整備を意識して、取引先から信頼される活動を心掛けます。

(レクリエーション活動その他)

主に土日を使って、様々な課外活動やレクリエーションを行います。また、七夕や節分など季節を感じられるような行事を活動時間内に取り入れることで、リラックスする時間とはたらく時間のメリハリをつけたり、楽しみがあるというモチベーションにつなげたりしていきます。他に、地域の皆様にもライムをより知っていただけるよう、地域のイベントなどにも積極的に参加していきます。

31 年度重点目標

30年度に導入した『皆勤賞』を継続し、さまざまな想いや目標をもつ利用者が、発揮したことや達成したことなどを共有し、認め合うことを通して、はたらく意欲や喜びを実感できるように努めます。また、利用者が『私の計画書』として実感できるような支援計画書になるようフォーマットを検討していきます。

その他、特記事項

3 就労継続支援 B 型事業(なないろカフェ)

基本方針

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業 展開をしていきます。

具体的活動内容

(作業訓練活動)

喫茶業務…なないろカフェの運営業務を例年通り行います。地域の方に親しみをもっていただけるような営業活動ができるよう心がけます。

(レクリエーション活動その他)

主に土日を使って、様々な課外活動やレクリエーションをライムと一緒に行います。また、なないろカフェ単体で、少人数だからこそできるレクリエーション活動の時間も大切にしていきます。

31 年度重点目標

- ・ひとりひとりがなないろカフェで輝けるよう、それぞれにあわせた支援を行います。少人数のよさを生かし、 それぞれの力が発揮できる場を作ります。
- ・昨年度から始めた情報提供ツール等を生かし、さらなる集客アップを目指します。
- ・アイドルタイムに、学生やボランティアによるイベント等を開催し、地域交流の場を作ることで、地域における社会福祉法人の役割の一端を担います。

その他、特記事項

4 自立訓練(生活訓練)事業(みかん)

基本方針

はたらく力、生活する力、人とつながる力を身につけ、主体的に地域で生活が営めるようになることを目指します。

具体的活動内容

作業…施設の清掃業務や下請作業など、ひとりひとりの課題に合わせて取り組みます。

SST…就労や自立した生活に向けて必要となるコミュニケーション方法などを体験的に学習します。

訪問…自立に向けて日常生活能力・技術を向上させるため、必要に応じ訪問し相談援助を行います。

生活講座…自立した生活を営むために、あるいは地域の一員として活躍していくために必要な金銭管理や健康管理、その他生活技術について学習します。

調理実習…みんなで楽しく調理をしながら食への関心を高め、自立生活の一助となるよう炊事の力を身につけます。

自由活動…ひとりひとりの創造性や個性を伸ばす活動や、個々の特性に合わせた活動を行います。また、地域のイベントにも積極的に参加していきましょう。

余暇活動…みんなで考え、話をして企画するレクリエーション活動の時間を取り入れていきます。また、地域のイベントにも積極的に参加していきます。

体感トレーニング…楽しく体を動かし、日頃のストレス解消や体の正しい動かし方について学びます。

31 年度重点目標

利用者の様々なニーズにこたえられるように、個別支援に力を入れていきます。そのためにもひとりひとりと話をする時間を積極的に取り入れ、個人にあったプログラム内容を一緒に模索していきます。

その他、特記事項

生活介護事業所ループ歩 31 年度事業計画

1 さつき

基本方針

- ・本人が穏やかな気持ちで安心して過ごせるように支援します。
- ・様々な場面において本人の意思を尊重した活動を行うと共にできる喜びを大切にしながら支援を行います。
- ・地域とのつながりを深められるように事業所として地域に貢献できる取り組みを行います。

具体的活動内容

- ・家族が安心できるように連絡ノートや自宅送迎時の時間を活用して密に連絡を取り合える環境を作ります。
- ・事業所周辺の人が多く出入りする場所でクッキー即売会を行い、地域の方々と交流を深めます。
- ・作業に取り組む時間が少しでも伸ばせるように可能な限り好きな作業を担当してもらいます。
- ・穏やかな気持ちで過ごせるように先の見通しが持てる情報をホワイトボード等を活用し伝えます。
- ・レクの時間の充実を図るために音を楽しむ時間を増やし、ボランティアの方に来ていただく機会も増やしてい きます。
- ・個々の得意な事を活かして1日の流れの中で利用者が主体的に様々な役割を担える場面を増やしていきます。

31 年度重点目標

- ・個々の行動特性を再確認し、本人に合った支援方法の見直しを行い、職員間で統一した支援を行います。
- ・作業に関して利用者の可能性を広げる為に本人の意思を確認しながら新しいチャレンジを積極的に行います。
- ・職員一人一人が事故や怪我を未然に防ぐための環境整備・必要な声掛け等を常に意識して行動します。
- ・地域の方々に今以上にさつきのことを知ってもらう為に販売・ポスティング・清掃活動に力を入れます。
- ・楽しく過ごす時間として定着したレクの時間の更なる充実を図ります。

その他、特記事項

2 まつぼっくり

基本方針

- ・働くことで得られる楽しさや大変さを共に感じながら、一人一人の働く喜びにつなげます。
- ・本人や家族の想いを確認しながら、将来を見据えた生活支援を行います。
- ・様々な事柄に興味を持ち、個々の生活の幅を広げられるような活動をします。

具体的活動内容

- ・パン・焼き菓子作りを基本としながら、アクセサリー製作・イス脚カバー作りも継続していきます。
- ・当番の仕事や調理実習等の活動を通して本人の可能性を伸ばせるように楽しみながら生活面の支援を行います。
- ・四季折々の行事を取り入れながら普段の生活と違う体験をする機会を提供します。
- ・毎月実施している体重・血圧測定を継続し、数値の変動を家族に報告しながら体調の変化に留意します。
- ・本人と家族が共に将来の生活の想像ができるようにグループホーム見学等を行います。

31 年度重点目標

- ・利用者の発信を受け止められる姿勢を持ち、コミュニケーション技術の向上に努めコミュニケーション保障と 情報保障を守ります。
- ・作業面・生活面共に日々振り返りを行い、職員間で統一した支援を行います。
- ・余暇活動やレクリエーション活動を通し家族やまつぼっくり以外とのつながり作りや将来の生活への具体的な イメージにつながる活動をしていきます。
- ・利用者の増加やニーズの多様化に向けて、作業内容も選択の幅が広げられるように工夫します

その他、特記事項

多機能事業所ループ奏 31 年度事業計画

1 生活介護事業(るるる)

基本方針

- ・本人が穏やかな気持ちで安心して過ごせるように支援します。
- ・様々な場面に置いて本人の意思を尊重した活動を行うと共にできる喜びを大切にしながら支援を行います。
- ・地域とのつながり作りのきっかけとして事業所として地域に貢献できる取り組みを行います。

具体的活動内容

- ・基本方針、重点目標をふまえて、31年10月の開所に向けて配置予定の職員で検討していきます。
- ・実際に事業を開始した後、利用者の様子に合わせて活動内容を柔軟に検討していきます。

31 年度重点目標

- ・職員一人一人が事故や怪我を未然に防ぐことを常に意識して行動します。
- ・地域の方々に事業所のことを知ってもらうためにこちらから外に出て行く活動内容を考えます。
- ・基本的な1日の流れの中に働く時間と楽しむ時間の両方を取り入れます。

その他、特記事項

2 就労継続支援 B 型事業 (ららら)

基本方針

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動については、安定して穏やかな気持ちで自分らしく過ごせることを第一に取り組んでいきます。

具体的活動内容

(作業訓練活動)

下請作業を基軸としていきますが、活動を進める中で在籍するみなさんにあった活動内容を検討していきます。 定員 10 名という少人数のよさを生かした取り組みを進めていきます。

(レクリエーション活動その他)

主に土日曜日を使って、様々な課外活動、レクリエーションを行い、リラックスする時間とはたらく時間のメリ ハリをつけていきます。他、地域のイベント等にも積極的に参加していきます。

31 年度重点目標

より具体的な活動内容や目標については、31 年度 4 月~9 月の期間を使って担当職員中心に検討していきます。

その他、特記事項

放課後等デイサービス事業所あざみ 31 年度事業計画

基本方針

学校・家庭とは違う時間・空間・人・活動を通じて安心、楽しさを味わってもらえる様、一人ひとりの子どもの 状況に応じた支援を行います。家庭や学校など関連機関と連携して成長を見守りお手伝いをしていきます。

具体的活動内容

遊びを楽しむ・・・自分が選んだ活動の中で、友達と一緒に過ごす楽しさ、人と関わる事に関心を持つ、コミュニケーションをとる楽しさが経験できるように活動していきます。

活動中に生じる他者とのトラブルは、自分の想いを伝える、他者との折り合いをつける力のつく場面と捉え、どう行動したら良いかを支援者と一緒に考えとりくんでいかます。

季節の変化を楽しむ・・・季節行事や散歩を通じて自然の変化を楽しみ、それを題材にした製作を楽しみます 季節行事を楽しみながら、家族や周りの人たちとの繋がりを深めて行きます。

集まりを楽しむ・・・朝の会、帰りの会で自分の想いや、頑張った事を発表し、自信につながるよう見守ります。

できるように・・・低学年の利用者には日常生活の基本動作の習得ができるように支援していきます。

お手伝い、外食、外出、買い物を楽しみます。法人内の行事、地域イベントに参加

31 年度重点目標

活動プログラムの充実 外遊びの小グループ活動を増やしていき、体を使った遊びの面白さや、友達と遊ぶ事の 楽しさを味わいながら、ルールの理解も、できるように工夫していきます。

子どもが好きな遊びや、リラックスするための活動を、自分で選んで取り組む事ができるように多彩なプログラムを作り、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう取り組んでいきます。

日常生活の基本動作の習得においては、家庭、学校との情報を共有し、一人ひとりの生活リズムを検討、習得が ゆっくりと、できるように支援していきます。

その他、特記事項

職員みんなで、子どもたちの今持っている力、育とうとしている芽を大切に、目をかけ、気にかけを合言葉に がんばります。

日中一時支援事業所あるば 31 年度事業計画

基本方針

子どもにとって楽しい場所である、家族にとって安心できる施設であることを目指して行きます。

具体的活動内容

遊びを楽しむ・・・自分の選んだ活動の中で友達と一緒に過ごす楽しさや、人と関わる事に関心を持つ、コミュニケーションをとる楽しさが経験できるように活動していきます。

季節の変化を楽しむ・・・季節行事や散歩を通じて自然の変化を楽しみ、それを題材にした製作を楽しみます。

季節行事を楽しみながら、家族や周りの人との繋がりを深めていきます。

集まりを楽しむ・・・朝の会、帰りの会で自分の想いや、頑張りを発表し、自信につながるよう見守ります。

できるように・・・排泄、食事など介助が必要な子どもには、楽しく動作ができるように、また習得ができるよ うに支援します。

お手伝い、外食、外出、買い物を楽しみます。法人行事、地域イベントに参加します。

利用中の様子をご家族にお伝えし、問題があれば話し合いを持ち支援に反映していきます。

31 年度重点目標

外遊びの小グループ活動を増やしていき、体を使った遊びの面白さや、友達と遊ぶことの楽しさを味わいながら ルールの理解も、できるように工夫していきます。

子どもが好きな遊びや、リラックスするための活動を、自分で選んで取り組むことが出来るように多彩なプログラムを作り、ゆったりとした雰囲気の中で活動できるように取り組んでいきます。

日常生活の基本動作の習得については、家庭、学校と情報を共有し、一人ひとりの生活リズムを検討し、習得が ゆっくりとできるように支援していきます。

その他、特記事項

職員みんなが、子どもたちが今持っている力、育とうとしている芽を大切に、目をかけ、気をかけを合言葉に頑張ります。

はまきた地域活動支援センター 31 年度事業計画

基本方針

利用される皆さんが、仲間との出会いを通して自分自身を知り、自分が持っている力を発揮しながら、地域での 暮らしを豊かにしていくお手伝いをします

具体的活動内容

開催時期	活動内容
4月	お花見 ①
5月	お出かけ① だいたいクッキング ①②
6月	そうだ、買い物に行こう ①②
7月	川遊び①
8月	バーベキュー ①
9月	ボーリング ①
10月	収穫祭(ライム)、まつぼっくり祭り(まつぼっくり) ①③
11月	おしるこ会(さつき) ①③ だいたいクッキング ①②
12月	法人合同グリスマス会 ①
1月	新年会 ①
2月	豆まき ①
3月	ひなまつり ①
定例活動	活動内容
月1回	みどりの美(メイク・ハンドトリートメント体験) ①②
	利用者ミーティング ①
	職員に質問コーナー ①
	You Tube を観る会 ①
	シニアクラブ〜いぶし銀の集い〜 ①
	のびのび会 ①
月2回	パソコン教室 ①② ゲーム会 ① 運動(卓球他) ① カラオケ ①
2ヶ月に1回	紙芝居 ① 地活カフェ ①
年に1回	日帰り旅行 ①② 男子会・女子会 ①②
毎週水曜	いっぷく(なないろカフェ) ①②
毎週金曜	音楽クラブ ① ※開催頻度を変更する場合があります
7の44	勤労者の集い ① (開催期間・場所は都度異なります)
その他	到力百の未び ②(開催利用 物川6間及共6万6)

① 日常生活支援事業

「利用者主体」「気持ちよく過ごせる場所」をモットーに、日々の生活に充実感を得られるように、課題や希望に対して関係機関と連携して支援を行います。休日の過ごし方や余暇の楽しみ方等日々の生活に張り合いを作れるよう、出来る限り多くの方に興味を持ってもらえるような内容を吟味しながら新規のプログラムを定期的に立ち上げていきます。利用者同士の意見交換の機会を持ち、自らもイベントの企画・実行をしていけることも大切にします。

② 地域交流活動

地域の方々との交流、ボランティアとの連携を通じて、障がい者福祉に関する啓発を行います。また当事者発表の場 や講演活動にも積極的に取り組んでいきます。

③ ネットワーク作り

当事者活動の支援、または関係機関との連携を深めていくことを意識していきます。

31 年度重点目標

1 「ひとりひとり」がよりイキイキと快適に過ごせる「はまきた地活」であるために

日々プログラムを組んで「集団」として見ること・考えることは継続しながらも、「個」にきちんと目を向けていくことも重要視して活動していきます。利用者からの「こんなことしたい、〇〇へお出かけしたい」といった気持ちを受けとめていくのと同時に、ひとりひとりの「どう過ごしていきたいか、どう活用したいのか」という気持ちをくみ取り、その状況に適した環境整備も対応できる仕組みづくりをしていきます。毎日来所する利用者が異なる中、職員として意識改革が行えることが利用者の「過ごし方」の想いに寄り添い、それが質の向上に繋がるようにします。

2 年長者に向けた定期的な活動

現在、はまきた地活に通所される利用者は平均年齢が低く、年配の方から「いづらさ」や「何話して良いかわからない」と言う声が少なからずありました。今後は通常の活動とは別枠を作り月に一回、年配の方に特化した外出等の企画を提案し、同年代で自分達のペースで過ごせる新たな場所を提供していきます。

その他、特記事項

プログラムや外出企画等でボランティアの力は必要不可欠です。チカサポは一定の効果が見られたので今後は 募集を休止し、改めてボランティア体制を見直し利用者もボランティアも安心して充実した時間が送れるように します。地域に根付いた活動ができること、ボランティアとの新たなつながりができるためにも常にアンテナを 張りめぐらせます。

浜松市障害者相談支援事業 ぽるた 31年度事業計画

基本方針

浜松市障害者相談支援事業委託契約内容に基づき、障害者(児)等の相談支援を行う事を通して、様々な人た ちとのつながりをつくり、誰にとっても暮らしやすいまちづくりを目指してきます。

具体的活動内容

・委託事業

相談支援事業、相談支援機能強化事業、成年後見制度利用支援事業、

相談支援事業所間の連絡調整、浜北区自立支援連絡会の企画・運営への参画

支援内容

福祉サービス利用に関する支援、障がいや病状の理解に関する支援、生活技術に関する支援、

社会参加に関する支援、家族・人間関係に関する支援、不安の解消・情緒の安定に関する支援、

社会資源の活用に関する支援、健康・医療に関する支援、保育・教育に関する支援、

家計・経済に関する支援、就労に関する支援、余暇活動に関する支援、他機関との連絡調整

31 年度重点目標

- ・利用者との対話関係を大切にし、つねに利用者から学びを得る姿勢をわすれないようにします。
- ・事業所の枠を超えて、みんなが協力して支援を行うための関係づくりを積極的にしていきます。
- ・以上を行うために、必要な専門性を身につけるために自己研さんに励みます。
- ・32 年度事業所再編されるにあたって、滞りなくケースの引き継ぎができるように準備をすすめます。

その他、特記事項

特定相談支援事業所ぽるた 31 年度事業計画

基本方針

ひとりひとりの想いに寄り添い、その実現に向けていっしょに考え、いっしょに歩んでいくことを大切にします。 また、場面に応じてソーシャルアクションを起こしていきます。

具体的活動内容

個々の相談を受けながら、サービス等利用計画書の作成・モニタリング等、計画相談のシステムに基づいて行い ます。

- ・基本相談
- ・サービス利用支援
- ・継続サービス利用支援
- ・サービス担当者会議

31 年度重点目標

- ・モバイル PC の導入など、IT も積極的に活用して、支援の質を落とさずにひとつひとつの業務の効率化を目指 します。計画相談の仕組みに則った中で、ぽるたとして現状の実務をよりシステマチックに行えるよう進め方 の基準を整理し、確立させていきます。
- ・長期にわたるかかわりの中では、当然、当初のアセスメントから内容が変化していくことがあります。本人の ニーズを正確に把握し続け、それに基づいたかかわりを継続していくために、随時アセスメントのメンテナン スを行っていくことを心がけます。
- ・顔の見える関係づくりを意識して、従来の関係機関だけでなく介護保険サービスや民生委員をはじめとした地域とのつながりをより強固にしていけるようにします。

その他、特記事項